

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	機械製図 I
科目基礎情報						
科目番号	30M117		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	林 洋次ら「機械製図」, 実教出版					
担当教員	菊川 裕規,手島 規博					
到達目標						
(1) 基礎的な図形を製図用具を用いてかくことができ, 投影図をかくことができる。(定期試験と課題)						
(2) 立体的な部品を図示できる。(定期試験と課題)						
(3) その図形に製作図として必要な図面上の基本的な指示が正しくできる。(定期試験と課題)						
(4) 課題を通して理解を深めるとともに, 継続的な学習ができる。(課題)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	応用図形を製図用具を用いてかくことができ, 投影図をかくことができる。		基礎的な図形を製図用具を用いてかくことができ, 投影図をかくことができる		基礎的な図形を製図用具を用いてかくことができ, 投影図をかくことができない	
評価項目2	より複雑な立体的な部品を図示できる		立体的な部品を図示できる		立体的な部品を図示できない	
評価項目3	その図形に製作図として必要な図面上の詳細について指示が正しく記入できる		その図形に製作図として必要な図面上の基本的な指示が正しく記入できる		その図形に製作図として必要な図面上の基本的な指示が正しく記入できない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (B2)						
教育方法等						
概要	製図の基礎についての知識や技術を身につけて, 基礎的な図形の表し方を習得する.さらに, 立体的な機械部品を製作図として表すため必要な基礎製図法を学ぶ。					
授業の進め方・方法	達成目標(1)-(4)について4回の定期試験と課題作図(小テスト含む)で評価する。総合評価は定期試験点を60%, 課題作図を40%として評価する。総合評価が60点以上を合格とする。 (再試験) 総合評価が60点未満, 50点以上の者で, 特に必要と認めた者について実施する。 (自学上の注意点) 受講前に必ず前回の講義内容を別綴ノートにまとめ, 要点を整理する。					
注意点	受講前に必ず前回の講義内容を別綴ノートにまとめ, 要点を整理する。					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	機械製図と規格		機械製図に関する J I S 規格の分類を理解し, 製図用具を用いて文字と線, 基礎的な課題図形をかくことができる	
		2週	製図用具の使い方			
		3週	図面に用いる文字と線			
		4週	基礎的な図形のかき方			
		5週	基礎的な図形のかき方			
		6週	基礎的な図形のかき方			
		7週	基礎的な図形のかき方			
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	前期中間試験の解答と解説 投影図のかき方			
		10週	投影図のかき方		部品を見て投影図,等角図, キャビネット図および展開図等の課題作図をかくことができる	
		11週	投影図のかき方			
		12週	立体的な図示法			
		13週	立体的な図示法			
		14週	展開図			
		15週	前期期末試験			
		16週	前期期末試験の解答と解説			
後期	3rdQ	1週	製作図のあらまし		前期で学習した図形のかき方をもとに, 実際の製作図にするため, 断面図, 回転図示, 補助投影図法等いろいろな応用図形を表すことができる	
		2週	製作図のあらまし			
		3週	製作図のあらまし			
		4週	図形の表し方			
		5週	図形の表し方			
		6週	図形の表し方			
		7週	図形の表し方			
		8週	後期中間試験			

	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 寸法記入法	製作図として必要な寸法記入法，公差記入法について 作図課題をとおして図に指示することができる
		10週	寸法記入法	
		11週	寸法記入法	
		12週	公差・表面性状	
		13週	公差・表面性状	
		14週	公差・表面性状	
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	製図	図面の役割と種類を適用できる。	4	前1,前14,後4,後5,後6,後7
				製図用具を正しく使うことができる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,後1,後2,後3,後10,後11
				線の種類と用途を説明できる。	4	前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,後1,後2,後3,後10,後11
				物体の投影図を正確にかくことができる。	4	前10,前11,前12,前13,後1,後2,後3
				製作図の書き方を理解し、製作図を作成することができる。	4	後1,後2,後3,後12,後13,後14

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	30	20	50
専門的能力	30	20	50
分野横断的能力	0	0	0